

# 輝け！シン尾花沢中

真理のとびら うちひらく 希望にもえる わが学園

第120号  
令和7年  
11月5日

## 「漆黒のわたしを誘う夏の星」～石沢さくらさん、山形県知事賞～

「五・七・五」の17文字に思いが込められる、世界で一番短い文学といわれる俳句…。11月2日（日）、山形県少年少女俳句大会表彰式がサルナートで行われ、県内22校、1426句から「漆黒のわたしを誘う夏の星」の句で山形県知事賞を受賞した石沢さくらさん（3年）が表彰されました。

さくらさんは「進路などに関わって疲れや不安を抱いていた今年の夏の夜、気分転換に外に出ました。夜空一面に輝く星空の美しさをみたとき、たまっていた疲れや不安が一瞬で吹き飛びました。そのときのことを詠んだ句です」と語ってくれました。

他にも、みずみずしい感性があふれる作品を次に紹介します。



記念撮影でのさくらさん



さくらさん  
句に込められた  
想いを語った

| 賞名             | 句                  | 受賞者名（学年・学校）      |
|----------------|--------------------|------------------|
| 山形県議会議長        | 涼しさを部屋に残して外へ出る     | 本人の希望により非公開      |
| 山形県教育委員会教育長賞   | アメ横のごちゃ混ぜ匂い春風と     | 庄司 健人さん（3年・三川中）  |
| 山形県市長会会長賞      | 飛ぶ火の粉よけながら待つさつまいも  | 戸村 奏心さん（1年・東根一中） |
| 尾花沢市長賞         | オムライス上手にできて五月晴れ    | 植野 まおさん（3年・米沢二中） |
| 尾花沢市議会議長賞      | 『どこに行く？』『何になる？』山笑う | 寒河江紗月さん（3年・大富中）  |
| 尾花沢市教育委員会教育長賞  | 突然に恋が始まる運動会        | 川原 愛翔さん（1年・東根一中） |
| 山形県現代俳句協会賞     | 弟とサイダー分ける平和な日      | 佐藤 綾郁さん（3年・宮川中）  |
| 尾花沢市芸術文化協会賞    | 桜散りすからかんな心のよう      | 柴田 叶夢さん（3年・酒田六中） |
| 尾花沢市観光物産協会賞    | 友と話す消えぬ日焼けと思い出と    | 伊藤ほなみさん（3年・酒田六中） |
| 尾花沢市商工会賞       | 蝉時雨止むとき空の青まさる      | 樋口 祿さん（3年・米沢二中）  |
| みちのく村山農業協同組合賞  | 青嵐に遙らいゴールの十五歳      | 井上 礼温さん（3年・日新中）  |
| 尾花沢ロータリークラブ賞   | サンダルを探す夕暮れ夏の川      | 大場 一颯さん（1年・東根一中） |
| 尾花沢中央ロータリークラブ賞 | 夏祭りいとこの彼女やってきた     | 長岡 奏汰さん（3年・大江中）  |
| 奥山まや先生特選       | 投げられて道着の形に汗の跡      | 山田 海司さん（3年・金山中）  |
| 大類つとむ先生特選      | 知育菓子こっそり聞く夏祭り      | 伊藤陽月葉さん（1年・東根一中） |
| あべ美佳先生特選       | 思い出は夏まで残す雪だるま      | 庄司 一期さん（3年・大江中）  |

なお、大類 岳さん（2年）が、卒業生高橋伊一郎さんとともに、ボランティアとして表彰式運営を支えてくれました。岳さん、ありがとうございました。 【文責：校長 工藤雅史】